

第6学年C組 家庭科学習指導案

授業者 石川 優子
研究協力者 堀江 さおり
教材分析協力者 西川 竜二

1 題材名 お金の使い方はだいじょうぶ？

2 子どもと題材

(1) 子どもについて

子どもたちは、5年「じょうずに使おうお金と物」で、買い物の仕組みや消費者の役割について学習してきた。ここでは、売り手と買い手の意志の合致で契約が成立すること、買い物袋を持参したり、不用な包装は断ったりするなどの工夫をクイズ形式で答えたり、物を選択する時の観点を話し合う活動を通して消費者の役割として社会に与える影響を考え、持続可能な社会を構築していくことに対する考えを深めてきた。

豊富な物に囲まれた現代の生活では、子どもたちも消費者として日常的に物やサービスを購入する体験をしているが、そのほとんどが親と一緒にいる。家庭科の学習で調理や裁縫をすることが楽しみで家庭でも実践している子どもがいる反面、身近な消費生活について、実践できている子どもは少ない。また、事前のアンケートでは、おこづかいを定期的にもらい使っている子どもは28人中7人であり、日常生活で限られたお金を計画的に使う経験をしている子どもは十分とはいえない。

(2) 題材について

金銭は家族が働くことによって得られた限りあるものであり、物や金銭が自分と家族の生活を支えていることから、それらを有効に使うことの重要性を理解することが必要である。また、日常的な個人の消費行動が将来の社会の形成に大きくかかわってくることから一人一人が自ら考え行動できることが重要である。そのためには、生活をふり返り、自分を見つめ直すこととともに、自分を客観的にとらえ、多様な視点や見地に気付いていく必要がある。

本題材では、家族が働いて得た金銭の使い方について興味・関心をもち、限られたお金の使い方の計画を立てたり、消費者として実践したりすることを通して、お金をもっと大切に有効に使っていこうという心情を育みたい。自分の意志決定の視点を明確にさせていくことにより、買い物をするとき気を付ける点について理解を深めることができると考える。それらを踏まえ、修学旅行の自主研修での消費行動における物の値段や分量、品質などの**情報の収集や整理をし、目的に合った物の選び方や買い方を考え、工夫する**という資質・能力を高めることを目指す。その上で、自分の消費行動を見直していき、多様な見方や考え方に気付かせ、健全な消費生活を主体的に実践していこうとする態度を育成することをねらいとしている。

(3) 指導について

これまでの学びで得た知識と技能を踏まえ、この題材では実践を行い、自分の消費行動を見直し、ふり返る活動を取り入れる。**自分の生活と物や金銭、環境との関わりに着目し、身近な消費生活を考える「見方・考え方」**を働かせ、自分の意志決定の視点到気付かせていきたい。そして、中学校で学ぶ「家庭生活と消費」の物資やサービスの選択・購入及び活用につなげていきたい。

7月に学校行事である修学旅行を控えているため、自主研修での金銭の使い方を考えていくことを通して、知識だけの理解に留まらず、実践へつなげ実践力を育みたい。そのため、修学旅行の自主研修での昼食やお土産の購入を考えていく活動を取り入れ、計画的な消費行動と値段や分量、品質など観点を明確にした選択ができるようにしていきたい。

買い方・選び方の視点とその理由や根拠を大事にし、友達の意見を取り入れたり、新たな観点を加えたり、さらによい選び方を考えていくことができるようにグループ活動を取り入れ、共有できる場の設定と一人一人の思考が見取れるような学習シートを準備する。また、購入するための情報の収集や整理ができるように子どもたちが興味・関心のある資料やパンフレット、メニュー表等を準備していく。

3 題材の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

- (1) 買い物の仕組みや消費者の役割を理解し、限りある金銭を活かして使う必要性や方法を知り、計画的な使い方ができる。 (C-1)
- (2) 目的に合った物の選び方や買い方を考え、工夫することができる。 (C-2, 3)
- (3) 様々な情報から自分の目的に合った情報を集め、整理し、意欲的に限られた予算での金銭の使い方を考えようとする。 (C-2)

4 題材の構想（総時数4時間）※「見方・考え方」を働かせた学習活動

じょうずに使おうお金と物（5年）

◎本題材で育む主な資質・能力
情報の収集や整理をし、目的に合った物の選び方や買い方を考える。
(C-2)

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の主な支援	評価〈本校の資質・能力との関連〉
1	<p>(1) 5年の学習をふり返し、6年での学習の見直しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> マークの意味や契約と約束の違い、賞味期限や消費期限の違い、地産地消のよさなど環境に配慮した消費を考える学習だった。 <p>(2) 修学旅行を想定し、自主研修での限られた金銭の使い方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> お土産代、昼食代、見学料、交通費が必要だ。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を想起することができるように、ノートやマヨネーズ、ブロッコリーなど品目ごとに板書し、鮮度や産地、値段など、購入する目的によって、多様な視点があったことを確かめる。 修学旅行では、限られた予算の中でお金を使う機会があることを確認する。 実際の自主研修をイメージできるようにお土産代は、事前の家庭での聞き取りをもとに予算を立てることや交通費は、市電のフリーパスが全員に配布されることなどを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> マークの意味や環境に配慮した消費生活について考えている。〈C-4・5〉 自分のこれからの生活との関わりから、金銭の大切さや計画的な使い方を考えている。〈C-1〉
<p>— 学習課題 お金の使い方はだいじょうぶ？修学旅行での使い方を考えよう</p>			
2	<p>(3) お土産を選ぶときの観点を考え、その理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 函館ならではものでもたくさんの人に買えるよう、できるだけ値段は安い方がいい。 食べ物だと賞味期限が長い物がもらう人もありがたいと思う。 保存方法も調べておく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を活用できるように、物の値段が分かる本やタブレット端末などを準備する。 修学旅行での班別自主研修を想定し、グループで話し合う場面を設定する。 各グループの選択のよさに気付くことができるように、選んだ理由を共有する活動を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に合った選び方や買い方を考え、その理由を考えている。〈C-2〉 目的に合った情報の収集や整理をしている。〈C-2〉
3 本時	<p>(4) 昼食を選ぶときの観点を考え、その理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夜は中華だから昼食は洋食にしたい。 朝にはあまり食べられないから昼食は栄養満点にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 選択には一つの観点ではなく複数の観点が重なり合っていることから、グループで重要視した理由をあえて1つに絞ることで、大切にしたい視点到に気付くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 値段や栄養、生産地に着目し、昼食を選んだ理由を明確にしながら話したり、書いたりしている。〈C-2〉
4	<p>(5) これまでの学習をふり返し、修学旅行でのお金の使い方について、自分の考えを整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画を立てたことで、よりよい実践ができた子どもやこれからの生活に役立てようとしている子どものふり返しを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習から学んだことを生かした消費生活を考え、考えをまとめている。〈C-1・2・3〉

◎本題材の学習で働かせる主な「見方・考え方」
自分の生活と物や金銭、環境との関わりに着目し、身近な消費生活を考える。

修学旅行で計画的にお金を使ってみよう（学校行事）

5 本時の実際 (3 / 4)

(1) ねらい 値段や栄養, 生産地などに着目し, 自主研修での昼食について話し合う活動を通して, 選んだ理由を明確にし, 金銭の有効な使い方を考える。

(C-2)

(2) 展開

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の支援 評価
5分	① 前時までの学習をふり返り学習課題を確かめる。 ・ 前の時間にはお土産を選んだから, 今日昼食について考える時間だ。 学習課題 修学旅行の自主研修の昼食おすすめメニューを考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しみにしている修学旅行で使う金銭であるという目的意識をもたせ, 子どもの課題意識を基にして立てた学習計画を掲示し, 活動の見通しをもつことができるようにする。
10分	② 昼食を選ぶときの観点を考え, おすすめメニューを決める。(グループ) ・ 朝食と夕食では, 野菜が足りないから昼食は野菜たっぷりの野菜塩ラーメンをおすすめしたい。 ・ 地産地消を考えて, 函館で獲れた海産物なら新鮮でおいしいこと間違いなしだから海鮮丼をすすめたい。 ・ 野菜も入っていて, 函館の食材を使っているハンバーガーがおすすめだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昼食のメニューを考える際に児童が選ぶ観点は多様になることが予想される。そこで, 観点を明確にして, 昼食のメニューを選択することができるように, 栄養士の先生におすすめするメニューを選ぶという活動を設定する。 ・ 情報を活用できるように, 物の値段や品質が分かる本やパンフレット, タブレット端末などを準備する。 ・ 選択には一つの観点ではなく複数の観点が重なり合っていることから, グループで重要視した理由をあえて1つに絞ることで, 大切にしたい観点到気付くことができるようにする。
20分	③ グループで選んだメニューを紹介する。 ・ 自分のグループとおすすめメニューは同じだが, 理由が違う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各グループの選択のよさに気付くことができるように, 選んだ理由を話し合う活動を設定し, その妥当性について吟味する。
5分	④ 違う相手へのおすすめの昼食はどれがいいか考える。(個) ・ 体が大きく男の人だから量が多いほうがいいから〇〇がおすすめだ。 ・ 性別は変わっても栄養については大切にしたいから〇〇で変わらない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践化への意識付けを図り, 相手によって選ぶ観点が異なることに気付くことができるように選んだ理由を自分の言葉でまとめる活動を設ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 値段や栄養, 生産地に着目し, 昼食を選んだ理由を明確にしなが自分なりに話したり, 書いたりしている。 〈C-2〉(発言・シート) </div>
5分	⑤ 本時のふり返りをする。 ・ 自分の自主研修では〇〇を~な理由で食べたい。 ・ 高くても自分は, 函館で作っている食材を使っている〇〇を食べたい。もっと具体的に早く計画を立ててみたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の学びをふり返ることができるように, 学習課題に立ち返らせ, 昼食を選ぶときの観点や自分が大切にしたい観点を自分の言葉でふり返ることができるようにする。 ・ 自主研修へ向けて, 昼食の選択理由を友だちの観点を参考にして考えたり, 複数の観点で多角的に見たりしている子どものふり返りを紹介する。